

# 保土ヶ谷宿 “ほっと” なお話 (その3)

## 「Open! HERITAGE IN 旧保土ヶ谷宿」

横浜市では、普段見ることのできない歴史的建造物を見学していただく「Open! HERITAGE (歴史的建造物一般公開)」を毎年行っています。今年は、2月17日(日)に旧東海道の宿場のひとつ、旧保土ヶ谷宿を舞台に開催されました。

当日は、沿道や周辺に残るかつての宿場をしのばせる3つの歴史的建造物が特別公開され、横浜国立大学 大野敏准教授によるミニ解説も行われました。約240名の参加者の皆さんも旧保土ヶ谷宿の知られざる魅力を楽しんでいる様子でした。



軽部本陣跡

旅籠本金子家

大仙寺



当日の様子

### 今年度検討経過と今後のスケジュール (予定)

	H24 年度	H25 年度	H26 年度以降
整備計画検討 基礎調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路予備修正設計</li> <li>・歴史的資源基礎調査</li> <li>・市民参加方法検討 等</li> </ul>		
整備計画策定 (市民参加等による検討)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路樹の検討</li> <li>・歩行者案内板の検討</li> <li>・歴史解説板の検討</li> <li>・道路の維持管理方法の検討 等</li> </ul>	
道路設計			

※上記スケジュールはあくまでも予定であり、決定したものではありません。

発行：横浜市道路局建設課 担当：山形、松本、江副  
 問合せ先：(電話番号) 045-671-3542 (FAX) 045-663-8993  
 ホームページ：道路局建設課 (一般国道1号(保土ヶ谷橋工区))  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/doro/kensetsu/r1/hodogayabashi/>  
 編集協力：横浜市都市整備局都市デザイン室、保土ヶ谷区市政推進課

## (仮称) みちづくりの会を立ち上げます!

### ◆(仮称) みちづくりの会の活動イメージ◆

市では昨年度作成した「みちづくりの整備方針」を基に、地元の皆さんのご意見を伺いながら整備方針を具体化するための「整備計画」の策定を予定しています。「(仮称) みちづくりの会」は、この整備計画の検討や今後のみちづくりの維持・活用に関する検討・活動を行う団体として立ち上げを行います。

今年度は、「東海道の歴史的資源を活かしたみちづくり整備計画」を作成するために、ワークショップ形式(下記参照)で街路樹や歩行者案内サイン、歴史解説板等について、皆さんと一緒に検討したいと考えています。

また、来年度以降も継続的にみちづくりの活動を続けていくための検討も予定しています。「(仮称) みちづくりの会」への参加を希望される方は折込の別紙に必要事項をご記入のうえ、事務局までFAXをお送りください(Eメールでの応募も受け付けています)。

### (平成25年度みちづくりワークショップ開催概要)

- ★開催日時：平日夜(19時頃開始)、又は土曜日午後(テーマによっては午前午後にもたがる場合があります。)
- ★開催回数：5回程度
  - ※開催会の合間に宿題等を出させて頂く予定です。
  - ※5回を通して継続的に参加して頂きたいと考えています。



見て歩きのイメージ



ワークショップのイメージ



道路の維持管理活動のイメージ

### ◆ワークショップ全体の流れ(予定)

6月21日(金)	第1回	主旨・進め方等の説明と植栽計画について
7月6日(土)	第2回	サイン見て歩き(まちあるき)
8月中~9月中旬	(宿題)	参加者ホームワーク(サイン事例探し、紹介したい歴史資源)
9月下旬~10月初旬	第3回	サイン配置計画とサインデザインイメージ
11月中旬	第4回	サインデザイン案と整備計画タタキ台について
1月中下旬	第5回	今後の市民参加と整備計画案について

※開催日程と開催内容は予定であり、変更となる場合があります。

# みちづくり整備計画の策定に向けて

横浜市では平成24年度に、一般国道1号（保土ヶ谷橋工区）（下図参照）の街路樹や歩行者案内板、歴史解説板、歴史的資源等の基礎調査を実施しました。今回は街路樹について内容をご紹介します。

## 街路樹の種類選びのポイント（概要）

街路樹の種類は、以下の3つのポイントから、選んでいきたいと考えています。

### 1 歴史的なみちの雰囲気づくり

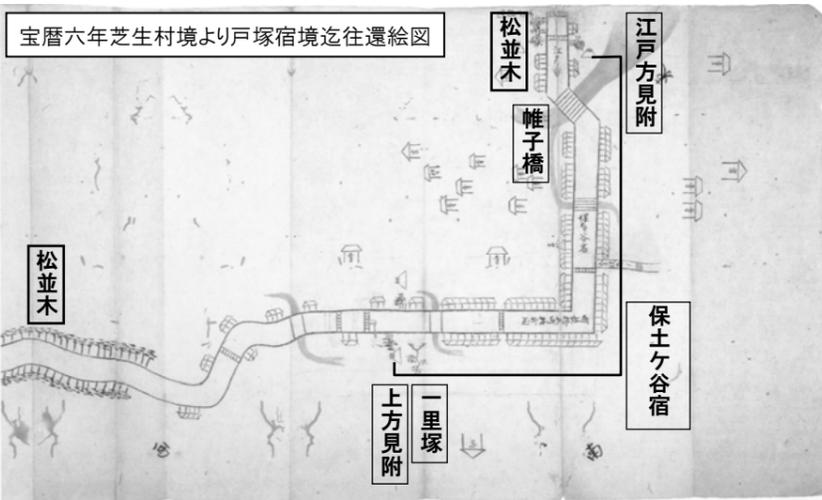
- 歴史が思い起され、後世にわたり継承される植栽とします。
  - 宿場町の変化が感じられるよう、保土ヶ谷宿の内側と宿の外側で異なる樹種とします
  - 並木の統一感により場所の印象を高めます

### 2 街路樹による季節や潤いを感じる道路づくり

- 回遊の骨格として歩行者への憩いや安らぎを感じさせる植栽とします。
  - 高木（並木）：四季の変化が感じられる落葉樹を中心に検討します
  - 低木（植栽帯）：通年を通したみどりを維持できる常緑樹を中心に検討します
- 円滑な自動車交通に配慮した街路樹とし、周辺に潤いを与える植栽とします。

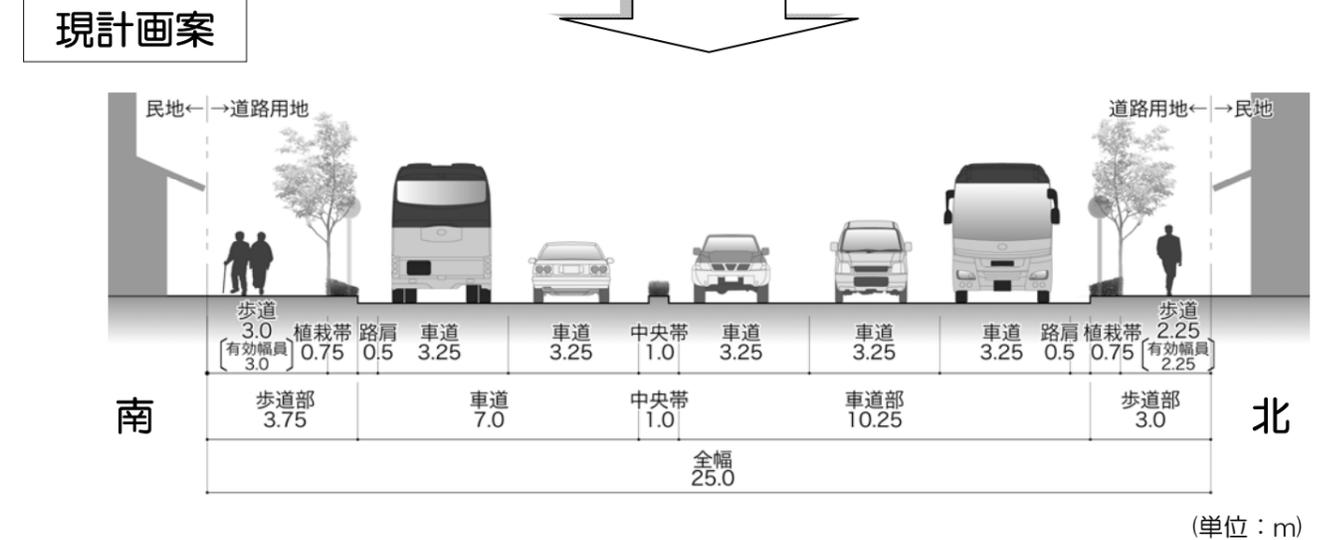
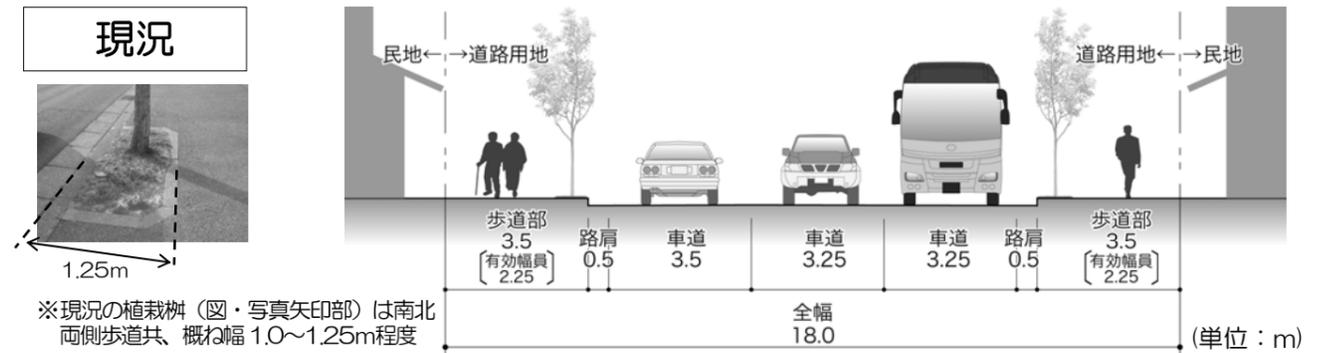
### 3 イベントや地域活動のしやすさ

- 地域の方々と横浜市が、ともに創り育てていけるような、親しみのもてる植栽とします。
- 東海道沿道での駅伝の応援等に配慮した植栽とします。
- 地域のイベント活動等に配慮した植栽とします。

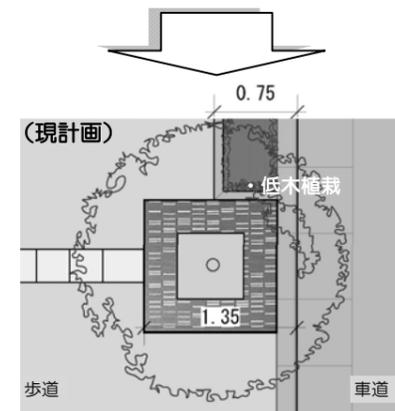
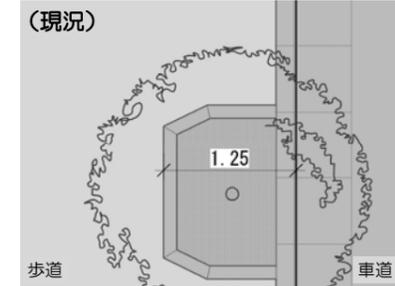


※往時、宿の内側（江戸方見附～上方見附の間）には並木はなく、宿の外側に松並木が植えられていました。

### 道路整備の対象区域（保土ヶ谷橋工区）と周辺の主な資源



### 植栽ますと街路樹の平面イメージ



### 現在の植栽ますと街路樹

